

ゴールを目指して

校長 渡部 透

5月15日（土）、抜けるような青空の下、天王みどり学園の運動会を行いました。新型コロナウイルス感染症対策で、来賓や保護者、卒業生の応援はなく、児童生徒と教職員のみで行いましたが、2年ぶりに行う全校での運動会は力いっぱい、笑顔いっぱいのものとなりました。

さて、徒競走での子どもたちの姿には特別なものを感じることがあります。今年の運動会でも、真っ直ぐゴール一点を見つめ全力で走る子、隣を走る友だちに負けまいと歯を食いしばる子、前を走る友だちを追い越そうとがんばる子など、勝ちたい気持ちに溢れ精一杯力を出している姿をたくさん見ることができました。また、教師と一緒にゴールを目指す子、友だちから引き離されても最後まで黙々とゴールを目指す子、遅れても足を止めずマイペースで走る子、一旦立ち止まってしまっても応援の声でまた走り出す子、曲がりたりよろけたりしながらも一步一步確実にゴールに向かって歩く子など、ゴールを目指すことに一生懸命な姿もたくさん見ることができました。勝って喜ぶ姿、負けて悔しがる姿、そして、ゴールを目指して走りきる姿に徒競走ならではの感動があると思いました。

コロナウイルス感染症の終息後には、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様や卒業生等、たくさんの方々的一生懸命ゴールを目指す子どもたちの姿を見ていただき、たくさんの方々の声援を送っていただきたいと思います。

